

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第2週（令和8年1月5日～令和8年1月11日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

第2週のインフルエンザの定点当たり報告数は前週より減少したものの、警報が続いています。本疾患は、主に飛まつや接触によって感染し、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。本疾患を疑う症状がある場合は、早めにかかりつけ医等の身近な医療機関に電話で相談しましょう。感染拡大防止のため、手洗い、咳エチケットを含む適切なマスクの着用、こまめな換気等に努めましょう。

また、本疾患にかかった小児・未成年者において、薬の種類や服用の有無に関わらず、急に走り出す、部屋から飛び出す等の異常行動が報告されています。異常行動による転落等の事故を防ぐため、発熱から最低でも2日間は、小児・未成年者の様子を注意深く見守り、容易に住居外に飛び出させないように、ベランダに面していない部屋に寝かせる、玄関や窓を施錠する等の予防策を講じましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	12	13	41	41
腸管出血性大腸菌感染症	2	3	13	13
レジオネラ症	1	2	37	37
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	9	9
急性脳炎	1	2	2	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	8	8
侵襲性肺炎球菌感染症	3	6	32	32
梅毒	12	17	28	28
百日咳	17	21	46	46

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	62	0.51	0.73	3,629	1.13
インフルエンザ（警報レベル）	2,019	16.55	0.82	33,217	10.35
急性呼吸器感染症	6,535	53.57	1.04	93,633	29.12
RSウイルス感染症	29	0.41	1.93	677	0.35
咽頭結膜熱	51	0.73	7.29	255	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	266	3.80	2.06	1,600	0.82
感染性胃腸炎	493	7.04	1.63	3,708	1.90
水痘	57	0.81	1.39	493	0.25
手足口病	3	0.04	0.20	68	0.03
伝染性紅斑	18	0.26	3.60	210	0.11
突発性発しん	24	0.34	2.18	141	0.07
ヘルパンギーナ	2	0.03	0.40	18	0.01
流行性耳下腺炎	5	0.07	-	22	0.01
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	3	0.01
流行性角結膜炎	37	1.42	7.40	68	0.13
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	3	0.20	0.75	205	0.43
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	0.00	4	0.01